

特選酪農家限定那須高原牛乳 おいしさの秘密

那須岳のふもとの澄んだ空気、清らかな水。牛にとって過ごしやすい冷涼な気候。牛乳も自然の恵みの一部であり、良い環境で育った牛の乳は美味しくなるという考えに基づくと、那須高原は恵まれた自然環境にあると言える。

～那須高原のこだわり酪農家たち～

- ・ 植木牧場



風通しの良い牛舎の中を牛が自由に駆け回っている。エサの時間になると思い思いに柵から顔を出す。牛のストレスを減らすため、フリーバーン方式（牛をつながず寝るのも歩き回るのも自由な牛舎のタイプ）を採用しているのは植木和也の牧場だ。牛のストレスが少ないというのはおいしい牛乳作りにとって欠かせないポイントなのだそうだ。

牛たちに上下やボス的な存在はないが、食事の時間になると力の強い牛ばかりが我先にとエサを食べだすという。だから力の弱い牛にもエサが行き渡るよう気を配る。それぞれの牛に食べさせるエサの配合や量はすべて頭の中に入っているという。「他の牧場より1回に搾る乳量は少ないかもしれない。だけどその分長生きして子どもを多く生み育てる。牛舎を建て直したのは10年以上前だけど、その頃から生きている牛もいます。」これが植木の経営スタンスなのだそうだ。

・渡辺牧場



渡辺は将来の酪農のあり方を考えて、先進的な機械の導入にも積極的だ。自動の搾乳機を取り入れ、24時間牛が好きなきに搾乳できる環境を整えた。

後継者を育てながら、牛も人もゆったりした気持ちで過ごせるような酪農を目指しているという。

指定された酪農家が育てた牛の原乳だけを使い、できるだけ短時間で殺菌・容器詰めまでを行う。

美味しい牛乳を作るために一番大切なのは、元の生乳の美味しさだ。それを新鮮なうちに容器詰めするのが理想だ。

日光霧降高原大笹牧場株式会社の強みは地域に根付き、生産者と深い関係を築いている点にある。

生産指導に目が行き届き、酪農家を廻って生乳を集め、すぐに加工に取り掛かることが出来る。